

お客様各位

NetIQ(株)Attachmate 事業部

Reflection for Secure IT Windows サーバ 8.1 リリースノート

この度 Reflection for Secure IT Windows サーバ 8.1 を国内リリースする運びとなりました。
以下 その内容と入手方法につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- ・ Reflection for Secure IT 8.1 Server for Windows

(本資料では、慣例表記/呼び名にて「RSIT Windows サーバ 8.1」と表記)

2. お知らせ

- ・今回は RSIT Windows サーバのみをバージョンアップします。そのため、RSIT 間のバージョンが下表のように不統一となります。製品バージョンは相違しますが、製品間の相互接続性や同一マシンへの RSIT Windows サーバ/クライアントの混在導入は問題ありませんので安心してご使用下さい。

RSIT 製品	最新 Ver	国内リリース日
・ RSIT Windows サーバ	8.1	2013 年 8 月 13 日
・ RSIT Windows クライアント	7.2 SP3	2013 年 6 月 4 日
・ RSIT UNIX サーバ/クライアント	8.0	2012 年 12 月 13 日

3. 変更内容

- ・従来 Ver 8.0 から、下記機能追加と不具合対策を実施致しました。

3.1 機能追加

- 1) Microsoft Windows Server 2012 のサポート
- 2) VMware vSphere Hypervisor (ESXi) 仮想化プラットフォームへの対応
(ゲスト OS として対象 OS をサポート)
- 3) FIPS 140-2 level1 適合のために OpenSSL FIPS Object Module を採用
- 4) サーバ側 SFTP Virtual Directories 間のファイルの移動(rename)を可能
- 5) 接続開始時のアルゴリズムネゴシエーション結果内容をイベントログ、デバッグログに記録

3.2 不具合対策内容

- 1) “ローカルログオンを拒否”するユーザに対して SFTP 実行時に、セキュリティログに「失敗の監査」を記録する問題
- 2) “User Subconfiguration” の [Public Key] Retries: “Number of public key attempts”の表示内容誤り問題
- 3) ユーザーの Active Directory におけるログオン名が Windows 2000 以前の互換ログオン名と異なる場合に UPN@domain による接続認証が失敗する問題
- 4) 証明書認証時に PKI Services Manager マップファイル内で定義する Allowed Identity Set 指定における許容されるパターンのうちの一部に対し対応できない問題

3.3 セキュリティの更新

- ・該当なし

